

スピーカー紹介（50音順）

今村 董（いまむら すみれ）さん 福岡女子大学3年生
「仕事とは何か」

今まで、私は、「仕事」という言葉を聞くと、「責任が重そう」「大変そう」などというように、仕事をするという視点が自分ばかりに向けられていた。しかし、お菓子屋でのアルバイト経験を通して、その考え方は大きく変わった。優しく声をかけ、気遣いをすることで、お客さんは、すごく喜んでくれた。その経験によって、仕事とは、自分ではない他の人を助けるものであり、だからこそ、責任は重く、大変なものなのだろう、と自分なりの仕事に対する考え方を得ることができた。仕事をする中で、人を助けることができ、そして、人を助けるということは、おのずと、社会に何かしらの形で貢献するということにつながるのではないかと。私は、まだまだ未熟であり、無知な面がたくさんあり、微力であるが、決して無力ではない。自分の希望する職種を見つけて、誰かを助けることのできる小さな力になりたい。

上村 陽子（かみむら ようこ）さん 久留米大学3年生
「これからの就職活動とキャリアプラン」

私は就職に対して高い壁を感じていた。また就職というものを働いて金を得るための手段であると考えていた。しかし、現在は就職がゴールだけではないと思うようになった。なぜそのように思い始めたかは私の経験にある。今年の夏、初めての海外、一人旅をした。理由は、自分に挑戦しどこまでできるか限界を試してみたかったからである。実際に行ってみて自分の無力さを痛感した。帰国後自分の中でちょっとした変化があった。もともと世界を知り自分を知りたいと強く思った。今まではゴールを就職にしていたが、就職の先にあるものは何かを意識し始めた。就職して知識を得たり経験するだけではいけない。それを発信するために新たな目標をたて達成していきたい。現状に満足せずたくさんのごことに挑戦し多くの経験を積み吸収していきたいと考える。そのために、就職して新たな目標を見つけ、挑戦できる社会人になりたい。

七條 芙美（しちじょう ふみ）さん （株）バリュー・クリエーションサービス
「リレーション・クリエーター」として ～元気な地域づくりを目指す～

現在、仕事として関わる地域や業界はまだ閉鎖的で、多くの課題を抱えています。そこには業界の枠を超えた繋がりなしでは解決できない課題があるのです。そこで、自分の経験や特技を活かした仕事の方向性を考え、自身を一言で表す職業、「リレーション・クリエーター＝ご縁の創造者」を自ら創り出しました。人一倍好奇心旺盛な私は以前から、全く接点の無かった人と人を繋ぎ、予想以上の結果が産みだされる感動の瞬間に何度も立ちあってきました。その経験から、全ては掛け算のように、繋がる相手によって未知数の価値を産む可能性を秘めている！と確信しました。協働、共感の時代となった今、私は「リレーション・クリエーター」として様々な縁を繋ぐことで、課題を魅力的な価値へと転換し、元気な地域を日本中に増やしていきたいと考えています。

東島 美緒（ひがしじま みお）さん 那珂川町立片縄小学校
「夢叶い、教師に」

幼い頃からの夢が叶い、私は現在、教師になって3年目になります。子どもの成長に直接関わり、非常に責任の大きい仕事で大変と感ずることもありますが、だからこそ、この仕事に誇りを持ち、やりがいを感じます。子ども達と過ごす日々は、楽しく、新鮮なことばかりで、学ぶことがたくさんあります。しかし、辛いことも多く、教師に向いていないのではないかと悩んだこともあります。そんな時、クラスの子どもの顔を思い浮かべると、「がんばらなければ」という気持ちが起こります。また、家族や同僚の先生方の支えも大きく、感謝しなければなりません。色々なことがあります。子どもの成長が感じられた時や笑顔が見られた時が教師になってよかったということを一番感じます。これからも、未来を担う子ども達の可能性を広げるために、教師としてできることを精いっぱいやっていき、社会に貢献していきたいと思えます。

山口 沙希（やまぐち さき）さん 特定非営利活動法人 障がい者相互支援センター MCP
「聞こえない私から子ども達へ」

MCPは障害があってもなくても平等に学べる場を目指している。「学びたいを支援する」のミッションのもとMCPを立ち上げ、2年目の活動を迎えた。様々な障害を有する者、支援をしてきた者が集まり、障害の有無に関係なく、次世代の子どもたちの育成に努めている。現在、九州内の大学等に通う障害学生の学習支援、情報保障は非常に少ない。私自身、聴覚障害を有し音声情報だけで進められる大学の講義は、文字情報や手話がなければ、話の中身を理解できなかった。日々、「わかる授業」を求め、もがいていた。「ろう教師」になる夢を、聞こえない子どもの学習支援教室や大学の情報保障の講習会という、子どもや学生の「学び」の支援の仕事に替えた。支援してきた学生たちがMCPをきっかけにお互いの支援をするようになった姿は、さらにこの活動のやる気へと繋がっている。この小さな仕事が社会を少しでも変えられることを願っている。

日本BPW連合会2013年度西日本ブロック研究会

ヤング・スピーチコンテスト&講演会

楽しく働く！

リアルに働き続ける！

～M字カーブのない社会に～

●日 時 2013年(平成25)年10月26日(土) 13:00～16:30

●会 場 福岡国際ホール大ホールA

福岡市中央区天神1丁目4-1 西日本新聞会館16F

●主 催 日本BPW連合会・西日本ブロック 担当:BPW福岡クラブ「福岡虹の会」

BPWとは・・・



Business and Professional Womenの略で、働く女性の利益を促進し、女性の社会的地位と職業水準の向上をはかるとともに、国内および国外の働く女性の親交と理解を深め、世界平和に寄与することを目的とした団体です。世界約150カ国、会員数約25万人、国連の経済社会理事会の諮問機関として一般協議資格をもつNGO(非政府機関)の団体BPW Internationalに加盟。1958年設立のBPW福岡クラブ「福岡虹の会」など全国に21クラブあります。

プログラム

開 会 (13:00)

開会のことば

主催者挨拶

担当クラブ挨拶

来賓挨拶

第1部

13:10~

ヤング・スピーチコンテスト (13:10)

テーマ「仕事と私」

発表者 今村 董さん
上村 陽子さん
七條 芙美さん
東島 美緒さん
山口 沙希さん

審査員 平松 昌子 (連合会)
池田 美幸 (北九州クラブ)
鶴田 雅子 (長崎クラブ)
垂見 和子 (熊本クラブ)
田島 安江 (福岡クラブ) 審査委員長

第2部

13:45~

講演とリレートーク (13:45)

講演「女性がいきいきと働き活躍できる社会になるために」

講師:村山 由香里さん(福岡県男女共同参画センターあすばる館長・福岡クラブ)

リレートーク

野口 美津江さん(北九州クラブ)

長沼 邦子さん(長崎クラブ)

山形 葵さん(熊本クラブ)

べ へシヨンさん(福岡クラブ)

..... 休 憩

ヤング・スピーチコンテスト審査結果発表および表彰・講評

閉 会 (16:30)

閉会のことば

交流会 (17:00 ~ 19:00)

講演「女性がいきいきと働き活躍できる社会になるために」

「女性の活躍」が日本の成長戦略の柱だと言われ、社会が大きく方向転換を図ろうとしています。本当に女性が活躍でき、豊かな男女共同参画社会をつくるためには、いったいどんな変化が必要なのでしょう？みなさんと一緒に考え、行動への一歩にしたいと思います。

講師 村山 由香里さん (福岡クラブ)

九州大学文学部卒。メーカーに3年勤務後、情報誌編集に携わり、1993年に起業し、働く女性を応援する情報誌「アヴァンティ」を創刊。社長兼編集長を17年務めた後、2010年より現職。



リレートーク参加者

野口 美津江さん (北九州クラブ)

医療従事者の世界に40年以上身をおいて

1969年小倉西高校卒業後、地元の病院に事務職として就職。院内で様々な職種を経験、1993年北九州初の診療連携室専任事務として従事。以来、医療ソーシャルワーカーも兼務し、同病院で32年間職務を全うし、50歳を期して退職。2002年、門司区の病院に医療連携推進のために専任事務として就職、現在に至る。趣味の合唱も38年、今年4月から会の代表になる。

長沼 邦子さん (長崎クラブ)

「キラキラ イキイキ 企業」継続造成中!

1990年1月(31歳)のとき、4回目の就職先として、入社。仕事は保険代理店の事務職。それまでの補助的な仕事と違い、やりがいのある仕事を経験すると同時に、仕事を通じて幸福人生(生き方)を勉強。2003年1月、取締役就任。自分の物の見方・考え方で、人生は変わる。何になりたいかではなく、どのようになりたいか(生きたいか)が大事。出会った仕事をやりたい仕事に結びつける。今は会社のメンバーと共に「キラキラ イキイキ 企業」を目指し、創り続ける喜びで楽しく働いている。

山形 葵さん (熊本クラブ)

「日々進化」の毎日

2009年10月、自分自身、何かステップアップしたいと思い、当時勤めていた医薬品の卸会社を退社。そして、女性たち自らが、髪・肌の悩みを何とかしたい、自分自身や次世代のためにと追究し、活動している「ネイチャー生活倶楽部」へ就職。時代と共に変わりゆく生活環境や、生活者の意識。だからこそ、自分自身、更なるステップアップをめざし取り組み続けている。

べ へシヨンさん (福岡クラブ)

女子労働問題の日韓比較研究でおおよそ20年!

大学修士課程(韓国慶北大学校)では人的資本論を研究し、日本での博士課程から女子労働問題を労働経済学的視点から日韓分析する研究を始める(名古屋大学、経済学博士)。韓国釜山大学でポストドクターや研究教授を経て、2003年から筑紫女学園大学に勤務。現在、女子労働問題を非正規職労働、少子高齢化と関連付けながら研究している。